

2022年度 鳥取県ギャンブル等依存症支援拠点機関事業

「依存症問題と小児期逆境体験について」研修会

講師：小林 桜児 氏（神奈川県立精神医療センター 副院長）

日時：2023年1月28日(土) 13:00～16:00

場所：鳥取県東部医師会館3階 研修室（ハイブリッドで開催）

1993年慶大文学部哲学科卒。R.D.レインやH.S.サリヴァンの著作に触れ、精神科医を志す。2000年信州大医学部卒。横浜市大病院で研修後、09年国立精神・神経医療研究センター病院などを経て、13年神奈川県立精神医療センター依存症診療科。18年より同センター医療局長、21年より同センター副院長を兼任。近著に『人を信じられない病—信頼障害としてのアディクション』（日本評論社）など。

<開催内容>

1. 開会の挨拶 行動依存問題ハンドブックの活用について（15分）
山下 陽三（依存症支援拠点機関 渡辺病院 副院長）
2. 講演：「依存症問題と小児期逆境体験について」（90分）
3. 体験談：断酒会員・GAメンバーより（15分×2人）
4. 質疑・意見交換：（30分）

【講師からの一言】アディクションで最も重要なファクターは「孤立感」だと考えています。ある衝撃的な体験をした時に、誰かを頼って相談できれば、そのインパクトは和らいだはずですが、しかしそれを誰にも話せなかったり、話しても冷たく扱われたりすると、「わかってもらえない」孤立感が生まれます。結果、その体験はトラウマ化して、他人に対する不信感を持つようになります。そして他人を信頼する代わりに、アルコールや薬物などの「物質」や、ギャンブルなどの「単独行動」のアディクションに溺れていくのです。私はこれを「信頼障害仮説」と呼んでいます。



参加申込は、資料および会場準備の都合上、2023年1月16日(月)までに必着
でお願いします。また、新型コロナウイルスの流行があるため、会場での参加は先着の70名で
制限させていただきます。ご来場の際には必ずマスクの着用をお願いいたします。
※ 本研修会はZoomによるWeb配信をします。

FAX 送信票

2023年1月28日(土) 13:00~16:00

2022年度 鳥取県ギャンブル等依存症支援拠点機関事業

「依存症問題と小児期逆境体験について」研修会

参加申込書

参加申込先 渡辺病院 松村 行

① FAX 0857 - 24 - 1024 ②E-mail : k.matsumura@mmwc.or.jp にて申込可
※申込期限は2023年1月16日(月)です。②のアドレスに、メールにて申込書の内容を記載するか、スキャンした申込書を添付し、送付することもできます。

出席方法

① 会場での参加 先着の70名までに制限させていただきます。

② Web (Zoom) で参加 (注)

(メールアドレス : _____)

(注) Web での配信は Zoom による配信を予定しております。
「Web 参加」を希望される場合は、事前にご自身のパソコン又はスマートフォン等に Zoom アプリ (無料版) をインストールしていただきますようお願いいたします。
後日、詳細をメールにてお知らせさせていただきます。

発信元

所属 : _____

名前 : _____

連絡先 : TEL _____ (FAX _____)

参加者

所属	氏名